

三中だより

令和7年3月11日(火)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木啓介

令和6年度第13号

大田区中央4-12-8

2月の末には春の陽気の感じられるような天気になってきたかと思えば、3月に入った途端、おひな様も凍えるような空気となり、氷雨まじりの天気が続きました。それでも、いよいよ3月です。学校の一年間の総まとめの時期となりました。正門の桜のつぼみも膨らみ始め、今年は菜の花が黄色い花をたくさんつけて、登校してくる生徒たちを迎えています。思い起こせば、ついこの間この桜の木の開花を眺めていたような気がします。1年が過ぎるのは早いものです。

ところで、この1年間という時間の進む速さは、どの人も同じような感覚でつかんでいるのでしょうか。よく年を取るにつれて1年間が過ぎるのはあつという間だという声を聞きます。それに対して自分たちが子どもの頃のことを振り返ると、1年間は、毎日たくさんの経験があって、思い出もたくさん作って、とても充実していたように思います。人生経験が少ない分、その経験から得ることがたくさんあるので、そう感じたのかもしれません。うした感覚を、1年間を自分がこれまでに過ごしてきた人生の中の割合としてとらえることで、体感として1年が過ぎるのが早く感じられるという考え方があります。それを中学校生活で例えば中学3年生は15歳ですから、これまでに過ごしてきた時間のうち、1年間のしめる割合は1/15で、6.7%です。同じように、中学校生活の3年間の割合を考えると、15歳にとっては20%となります。中学校生活での1年間は生徒たちにとってどう感じているのでしょうか。それは人それぞれになるでしょう。どの人にも平等な時間をどのように過ごすかによって、人によ

って感じ方はさまざまです。それでも中学校3年間がこれまでの経験の20%を占めるととらえると、中学生にとってこの3年間では学ぶことがたくさんあって、とても価値があり、重みをもつ期間だと感じます。

そんな中学校3年間で経験したことや新たな学びは、色褪せずにこれから的人生の中で大きな影響を担っていくものです。今までの自分の人生の中での大きな割合を占める中学校生活だからこそ、さまざまな体験に挑戦して視野を広げたり、新たな学びを深めたりして、有意義に過ごしてほしいと願います。そこで、さらに新鮮な体験への挑戦や、真理の探究につながっていきます。自分自身のことをしっかりと見つめてその先への見通しをつかむことで、これから先への自分の生活について挑戦しようという気持ちが芽生えてきます。そして、こうした先へ進もうという意欲は、いっそう今の生活を大切にしようという気持ちにつながります。

さて、生徒たちが授業で取り組んできた成果を、学芸発表会で展示いたしました。授業中に学習した課題の制作、一生懸命に準備してきた行事、そして事後学習の取り組みから得た成果など、一つ一つに生徒たちの思いが込められています。参観していただいた保護者・地域のみなさまには、生徒たち作品からそうした思いを感じ取り、これから先の可能性を感じ取っていただければと思います。大森第三中学校では、生徒たちが磨き合い、励まし合って次へと進んでいける教育活動をこれからもすすめてまいります。

スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	3/4(火)、3/11(火)、3/18(火)、 3/25(火)
鳥海 真里	3/5(水)、3/12(水)
田中 典子	3/3(月)、3/10(月)、3/17(月)

※大森三中 相談室直通電話
(3773)7831

3月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
			吹奏楽部 第3回定期演奏会 於アーバリコ 15:00~	春季休業日		修了式・離任式	美化活動・大掃除 ジャージ登校				第76回 卒業式	卒業式準備				② 観劇(3)				避難訓練 中央委員会	安全指導 専門委員会 15:30~		学芸発表会展示の部 学校公開日 ① 9:00~ ④ 13:00~	学芸発表会展示の部 クラス見学 公開 16:00~ 16:30	卒業遠足(3) 東京ディズニーランド	ESAT 「Jスピーキングテスト」 1・2	復習確認テスト 1・2			

3年生が、中学校生活を振り返り、その思いを紹介いたします。

卒業するみなさんへ

3学年主任

中学校の生活がまもなく終わろうとしています。学校生活のほとんどの時間を占めた授業は、みんなにとってどんなものだったでしょうか。先生から正しい解き方を教わるもの、ひたすら公式を暗記するものだったでしょうか。もちろん中にはそういう内容のときもあったでしょう。しかし実際はそんな単純なものではなく、共に学びあうことで、互いの考え方や感じ方の違いに気づき、時にはとまどい、時には新しい発見をしてきました。

授業以外でも、様々な場面で影響を与え合ってきました。3年間の学校生活を通して、それぞれが大きく成長したと思います。これからも、周囲への感謝を忘れずに、失敗から学び、新たな世界で生き生きと過ごして欲しいと思います。

運動会

3年

私が中学校3年間で経験した運動会で学んだことは団結力の大切さです。2年生の大縄跳び、3年生のムカデ競走では、一人の力だけでなく、チーム全員で協力することが勝利につながります。この2つの競技ではクラスメイト全員で息を合わせることができました。

また、仲間と励まし合い、失敗しても前向きに挑戦する経験を数多くできました。仲間と団結することで大きな力が生まれることがわかりました。ここで学んだ団結力は、今後の高校での生活や社会に出たときにも役立つと思います。これからも仲間を大切にし、支え合いながら成長していきたいと思います。

修学旅行

3年

私は修学旅行では、実行委員と班長を務めました。実行委員としてルールを決めたり、旅行中の会議ではルールの見直しや次の日の行動を確認することでスムーズに、みんなが楽しめる修学旅行にすることができたと思います。班長としては、京都に行ったことがなく、地理も苦手だったので、グーグルマップがあるとはいえ、とても苦戦しました。迷うこともありましたが、友達と協力することで、無事に2日目の班行動を終えることができました。

3日目はタクシー行動だったので、安心して活動することができました。体調不良者が多く、大変な3日間でしたが、色々な体験もでき、とても良い思い出になりました。

合唱コンクール

3年

私は3年生の合唱コンクールを通して、協力することの大切さを学びました。私のクラスははじめ、なかなか息が合わず、先生からも「全然だめ」と言われ続けていました。しかし一度先生から厳しく叱られたことをきっかけに、互いに声かけをしながら練習するようになりました。そして徐々にクラスが団結し、本番では最優秀賞を取ることができました。またそのあとのアリコホールの合唱でもきれいな歌声を響かせることができました。人と協力して行う活動は想像より難しく、大変でしたが、貴重な経験をすることができました。

からの高校生活では、この経験で学んだことを忘れずに行事や部活動などに積極的に取り組み、人との関わりを大切にしたいです。

生徒会活動

3年

私は1年生から生徒会役員として、2年生では生徒会長として活動してきました。小学生の頃から生徒会になりたかったので、会長に当選したときはすごく嬉しかったです。2年間の生徒会活動では校則改正を公約として挙げました。昨年の1月から約1か月間「校則改正プロジェクト」を行いました。役員が主体になり考えた企画なので不安もありましたが、無事に終えることができました。上手くいかないこともありますましたが、役員と話し合いを重ね何度も校則を見直しました。その結果、約1年かけて校則改正を行うことができました。

これからも、この校則を守ってよりよい学校生活をみなさんへ送ってほしいです。

部活動

3年

私が3年間所属した鉄道研究部（以下、鉄研）は、どちらかというと悪い意味で異質な部だったと思います。1年生の体験入部では、私は17時で下校しましたが、他の部員があまりにも遅くまでいたせいか、まさかの活動停止になってしまいました。「この部活、大丈夫かな」と思うこともありましたが、運動会での部活動対抗リレーへの参加、夏の旅行、学芸発表会への出展など、鉄研ならではの活動も多くあり、特に旅行はコロナ規制の緩和もあり、1年生のときは八景島だったのが、今年は宮城県に行くことができました。展示も毎年ギリギリでやっていますが、それも鉄研の楽しさだと思っています。3年間鉄研でよかったですと今では思っています。